

発行日：2017年7月15日

広報

環境カウンセラーちば

第51号
特定非営利活動法人
環境カウンセラー
千葉県協議会

環境カウンセラーは、環境省により認定された環境に関する専門家です。
地球温暖化対策、廃棄物対策、環境教育・環境学習、環境経営など、お気軽にご相談下さい。

2017年度のスタートにあたって

理事長 見並 勝佳

先の5月21日の通常総会において今期の事業計画と役員改選が承認され、創立20周年目の活動がスタートしています。私、見並勝佳が理事長を務めます。宜しくお願いいたします。

ここ数年はいくつかの課題に取り組んできました。「会員数の漸減」と「高齢化」はかなり進行していて、会員数が100名の状態となっています。簡単に解決策の出ない難問ですが、役員改選で選ばれた次の5年を継続できる人を中心に会の運営を行っていきます。もうひとつの「財政」は、皆様の努力とご協力でかなり改善し、今年度に予定している「EC千葉設立20周年事業」実施には問題ありません。皆様のご協力に感謝します。豊富な財力ではありませんが、5年先の会の姿を見据えた上で、どのように事業展開に役立てるかを検討する期であると考えています。会員数を増やすには、活動内容を充実させ、「EC千葉はなかなかやるね、面白そうだ!」との評価を得るしかありません。重要なのは外部に向かってどのように情報を発信し、行動を起こしていくかです。「外部に開かれた活発な活動」を「楽しく行う」を組織運営の基本としていきます。

今期は、大多喜町での「わくわく探検隊」にセブンイレブン財団から約15万円の助成金があること、千葉市への補助金申請と外部への働きかけが既に始まっています。これら事業をきちんとおこなうことがEC千葉の評価につながってきます。そのほか、会員の皆様が地元で活躍されている行事への積極的な参画と支援、外部団体との共催行事開催、外部の方が参加できる自然観察会と講演会、施設見学等々、「外部との関わり」をキーワードにして活発化させます。現状の計画にないものは予算化して推進していきます。会員の皆様の積極的なアイデア提案と参画を期待しています。

事業部門では、EMS支援センター事業は、EC千葉の最大事業であり財政的にも非常に重要です。従来からのセミナー等の行事を着実に実施するとともに、今年に予定されているEA21の制度改革がEC千葉に与える影響を見極め、対応と展開の年です。

外部に向けての事業である「うちエコ診断事業」を事業としての基盤確立を目指します。今期は50件を目標として既に補助金申請しました。うちエコ診断士の2名体制も目途が立っています。また、期初に野田市での診断事業の具体化があり活性化が期待できます。「エコ検定受験講座」の広報は個人向けだけでなく企業向け活動を強化して、事業としての採算性を重視した運営を行っていきます。水環境対策センターの千葉県特有の課題である「浄化槽問題」への当協議会の貢献評価は高く、今年度も実施予定です。県事業だけでなく、EC千葉として幾つかの市に講習会開催を働きかける提案活動を行います。廃棄物対策センターは新体制での事業展開を行っていきます。

今年、EC千葉設立20周年の大事な節目です。20周年プロジェクト委員会を設置して企画と予算を決め、強力で推進します。ここまで先輩達が築き上げてきた歴史に恥じないものと考えています。期初にあたり、決意を述べさせていただきました。

第15回通常総会が開催されました。

第15回通常総会が平成29年5月21日(日)に千葉市市民会館特別会議室において開催され、会員総数100名に対し96名の出席(うち、委任状提出52名)で、見並勝佳理事長が議長となり、次の議案を審議し、承認されました。会員の皆様のご協力に深く感謝いたします。 平成28年度収支実績・平成29年度収支予算

- (1) 第1号議案「平成27年度事業報告ならびに決算報告」
- (2) 第2号議案「平成27年度監査報告」
- (3) 第3号議案「平成28年度事業計画案ならびに予算案」
- (4) 第4号議案 「役員の変更」

(単位:千円)	平成28年度 収支実績	平成29年度 収支予算
前期からの繰越	3,278	3,598
当期収入	2,085	2,174
当期支出	1,765	2,886
次期への繰越	3,598	2,886

第1～3号の各議案はいずれも賛成多数で承認され、第4号議案に関しては選任方法が議長に一任されたことにより議長が新たな理事、監事の候補を提案し、次の方々が賛成多数で承認されました。

(理事) 上口清彦、國廣隆紀、佐藤ミヤ子、志澤達司、辻川毅、田博秋、橋本正、服部達雄、松村利治、見並勝佳、宮田勉、茂利晃、吉田昌弘、青木誠、阿部勳夫、瀧端尊史、笹木勝利(以上17名)

(監事) 有馬富穂、戸村泰(以上2名) (任期は平成29年6月1日～平成31年5月31日)

この役員改選を受けて、5月21日に臨時理事会を開催し、理事長および副理事長3名、さらに運営細則に定める各役職を選任し、理事長が委嘱あるいは任命されました。

さらに、通常総会に続いて、総会特別講演会(第27回環境セミナー)を開催し、株式会社ウエザーニュースグローバルセンター 取締役 最高運営責任者 安部 大介 氏から「地球温暖化の影響と最近の気候・気象について」と題してご講演していただきました。

[総会特別講演(第27回環境セミナー)]

演題「地球温暖化の影響と最近の気候・気象について」

株式会社ウエザーニュース グローバルセンター

取締役 最高運営責任者 安部 大介 氏

地球温暖化対策問題は、今や全世界の国が参加する「パリ協定」が2016年11月に発効し、大きな注目のもと動いている。この地球温暖化問題は、我々に対し極端化した異常気象を伴って身近な問題として迫っている。

今回、地元千葉市幕張にて、全世界の気候気象の情報を駆使して活動している、日本及び世界的な気象情報会社「ウエザーニュース社」の取締役最高運営責任者 安部大介氏をお招きし、1時間の特別講演とその後の質疑応答30分という貴重な時間のもと、「日本及び全世界の異常気象の状況、また地球規模の気象データ、地球温暖化と異常気象発生の仕組み、経済等社会への影響、等」を我々会員に懇切丁寧に説明頂き、我々会員は、有意義な情報を得ると共に、今後ウエザーニュース社との情報交換の場を得たことにより、今後の環境カウンセラーとしての活動に大きな示唆を得ました。

(執筆責任 橋本 正)

[株式会社ウエザーニュース]

所在地：千葉県千葉市美浜区中瀬 1-3 幕張テクノガーデン URL：<http://jp.weathernews.com/>



株式会社ウエザーニュースが運営主体となって、先代・南極観測船「しらせ」が、船橋港において一般公開されています。詳細は次のURLをご覧ください。SHIRASE サイト URL：<http://shirase.info/>

千葉県環境功労賞受賞報告

平成29年6月1日

水環境対策センター長 上口清彦

「浄化槽使用者向け啓発講習会」を10年実施してきたの実績に対しての表彰であり、EC千葉、水環境対策センター員全員を代表して受賞頂きました。

私がEC千葉に入会した平成16年でした。当時は水に係わる組織がなく、水環境研究会からの発足で当初は2名からのスタートでした。幸いにも千葉県環境生活部から県とNPOとの協働事業の募集があり、応募するための準備が初まった、事業計画を始める頃には7名のメンバーに成長。幸運にも「浄化槽使用者向け講習会」が採択され、メンバー全員での準備に取り掛かった。

毎週のように実施に向けての作業を分担して充実した毎日でした。それから10年、浄化槽講習会は千葉県内、EC千葉に於いても評価頂けるまでに成長してきました。メンバー一人一人の熱意と誠意の結果と考えます。

私は在勤の昭和49年に工場の排水施設を担当、当時は浄化槽管理士の制度がなく東京都2級公害防止管理者の資格を取得、当時、水環境の仕事は絶対に必要との思いがありました。平成元年5月から浄化槽保守点検業社に入り早29年になりました。当時、浄化槽の適正管理の考えは殆どなく、お客様とのトラブルも多く業者が法律論を持ち出すことはタブーでした。其の頃（平成13年）環境カウンセラー制度を知り、将来、浄化槽講習会はNPOで実施することがベストとの思いが強くなり、環境カウンセラーの仲間入りを果たし、EC千葉での活動に至っています。現役時代には表現しにくいことも、NPO（環境カウンセラー）の立場で表現が可能になり、感無量です。

浄化槽講習会は、使用者に適正管理を実施して頂き、放流される排水が法律で定める基準を満たすための内容です。浄化槽講習会では受講者に人気のある実習写真などを掲載いたします。

千葉県環境功労賞は千葉県との協働事業から継続して10年実施してきた成果、とメンバーシップのお蔭と感謝します。この先10年を目指して継続的活動を致します。



1



2



3



4

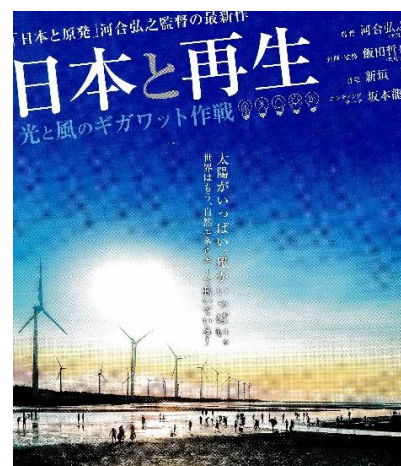
1. 講習に先立ち「浄化槽カットモデル」を受講者に見ていただき、イメージ化を図る。
2. 実習ではトイレットペーパー等の分解を体験していただいています。
- 3.、4. 千葉県環境功労賞（森田知事からの「感謝状」）を環境生活部部長・吉添圭介様からいただく。

以上

映画「日本と再生-光と風のギガワット作戦」に寄せて

環境カウンセラー千葉県協議会 顧問 荒野 詰也

環境カウンセラーEMS 支援センターで紹介された勝田台文化センターにて頭記の映画を鑑賞した。この映画は、脱原発推進派の河合弁護士の映画「日本と原発」に続いて作成されたものである。「日本と原発」は10万人の人が見たとされている話題作であり、この映画で原発の問題点はわかったが、代替りのエネルギーはどうするのかとの問いに答えるために作成された野心作である。その内容は、福島原発事故があぶり出した原発利権構造の中で、日本は、執拗に原子力発電の復活を望んでいる。全ての原発を止めようとしている作者は、「原発無くしても自然エネルギーで地球も経済も再生できる」と考え、世界の自然エネルギーの実情を知るための旅に出た。同道するのは反骨の環境学者(飯田哲也)でドイツ、デンマーク、中国、アメリカを回った。今や輸出が増大するドイツ、米国防総省が進める自然エネルギー計画、原発推進国と思われていた中国の絶対的自然エネルギーの隆盛と、とにかく世界はクリーンで安価なエネルギー方向へ動いていることを知り、今この瞬間に起こっている世界のダイナミックな変化を説いている。そして、自然エネルギーが実用化されていることは勿論、これまでになく急速に普及し、大きな変化を起こしている様を目のあたりにして大いに驚く。そしてこれは「人類の第四の革命」と呼ばれているダイナミック且つ世界的なエネルギーの転換であることがわかる。しかし、これらのことは日本ではあまり知られていない。それどころか、原発再起動に邁進する日本は、大きな歴史的な変化に逆らい「逆走」していることになる。作者は、この作品の冒頭で、その動機を強く語っている。それは、脱原発と自然エネルギーは、コインの裏と表であり、両方を同時にやらないといけないことがわかった。賢い人たちが安易に原発に頼らず、懸命に「知」を働かせた結果自然の女神はようやく人類に光と風の手を差し伸べようとしているのだ。その手を握るか、それとも背を向けるのか、それは私たちの「知」と「心」の強度に託されていると説いている。一見に値する作品である。



秋の自然観察会の案内

コース：中部山岳国立公園 ～乗鞍岳周辺の地形、植生等の観察～

宿 泊：休暇村乗鞍高原

実施日：平成29年10月11日(水)～12日(木)

[詳しい内容は、EC千葉ホームページをご覧ください。]

総務部からのお知らせ

2017年2月6日～2017年6月30日の間に、次の方々から当協議会へご寄付いただきました。ありがとうございました。

青木 誠 様 30,000円、戸村 泰 様 17,000円、橋本 正 様 30,000円

広報 環境カウンセラーちば 第51号 (発行日 2017年7月15日)

発行：特定非営利活動法人 環境カウンセラー千葉県協議会 (発行責任者：事務局長 橋本 正)

事務局：〒275-0012 習志野市本大久保 4-9-4

(Tel & Fax) 047-478-3237

(E-mail) ecchiba-jimukyoku@ecchiba.sakura.ne.jp

(URL) <http://ecchiba.sakura.ne.jp/>

<年会費等の振込先> 郵便振替口座 00110-5-34692

(加入者名 NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会)